

5・6号設備運用状況

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	2月		3月					4月			5月	6月	7月	8月	9月以降	備考	
					27	6	13	20	27	上	中	下	新	調	新	調	新	調		
5・6号設備運用状況	運用管理	1. 設備維持	DG、冷却設備等の維持 (実績) 計画的な点検の実施 (予定) 計画的な点検の実施	現場作業	5号機計画点検(2021年5月10日～) (2022年4月点検完了予定)													6号機計画点検(2022年5月～)	5、6号機の設備維持に必要な計画点検の実施。 ・5号機計画点検予定時期：2021年5月10日～2022年4月 現在の状況 2021年11月11日：D/G5A試運転時に過給機出口配管フランジ溶接部のき裂より排気ガス漏えい事象を確認し、当該配管の交換を2022年1月に実施済 今後の対応 上記の水平展開としてD/G5Bの過給機出口配管交換を2022年4月実施予定 ・6号機計画点検予定時期：2022年5月～2022年9月	
		2. 使用済燃料の冷却	5号機使用済燃料の冷却	(実績) 使用済燃料の冷却継続(2015/6/1使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	現場作業	使用済燃料の冷却継続													(継続運転)	5号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。
			6号機使用済燃料の冷却	(実績) 使用済燃料の冷却継続(2013/11/29使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	現場作業	使用済燃料の冷却継続													(継続運転)	6号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。
		3. 滞留水の処理	滞留水の処理 建屋滞留水移送・処理	(実績) 滞留水移送・処理 (予定) 滞留水移送・処理	現場作業	滞留水移送・処理													(継続実施)	建屋内の滞留水を屋外タンクに移送後、RO装置・浄化ユニットにて処理後、構内排水。 <運用状況> ・浄化ユニット：(A)・(C)・(D)運転中 / (B)待機中 ⇒2021年11月22日 浄化ユニット(A)移送ポンプメカリンク発生。 浄化ユニット(B)は吸着塔の詰まりがあるため、2021年12月中旬に浄化ユニット(B)移送ポンプと浄化ユニット(A)移送ポンプを入替済メカリンク納入後、浄化ユニット移送ポンプ(A)～(D)の点検を予定。 (工期：2022年8月～2022年11月) <今後の対応> ・浄化ユニット：5・6号機建屋滞留水処理を継続する。 ・RO装置：Fタンクエリアのフランジ型タンク内包水を減容するために使用する。(建屋滞留水処理では運転しない。)
		4. 5・6号サブドレン設備の運転	5・6号サブドレン設備の運転	(実績) 運転 (予定) 運転	現場作業	2022年3月28日～ 運用(移送)開始													(継続運転)	・2022年3月28日～ 5・6号サブドレン設備 運用(移送)開始
5. 新燃料の搬出	6号機の新燃料の除染・搬出	(実績) 解体・除染・再組立 (予定) 解体・除染・再組立	現場作業	2018年4月24日：実施計画変更認可申請 2018年10月22日：実施計画変更認可 2018年8月下旬：搬出準備作業を開始。 2019年9月下旬：解体・除染作業再開(準備作業含む) 2019年11月25日：新燃料除染作業における燃料棒の曲げ事象が発生し、作業中断。 2020年4月8,9日：健全燃料棒71本を除染・再組立してNFVに収納。 2020年4月22日～24日：曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を実施。 2020年4月27日：曲げ戻した燃料棒(1本)を71本の健全棒が挿入された燃料集合体に挿入、新燃料貯蔵庫に収納。 2020年11月27日：今年度予定されていた解体・除染作業15体終了。 2021年1月29日：解体除染で発生した廃棄物(部材等)の減容作業終了 2021年7月12日：プール外への新燃料搬出時に経路するチャンネル着脱機の使用前点検で不具合発見 (今後の対応) ・2021年度の解体・除染の時期について2023/3に変更。 ・チャンネル着脱機の上昇機能を用いない治具等を製作済																
	6号機に貯蔵中の4号機の新燃料の洗浄・搬出	(実績) 洗浄(線量測定のみ) (予定) 洗浄	現場作業	洗浄 2022年3月24日 完了													・2021年12月：洗浄装置設置終了 ・2022年1月：洗浄開始(線量が低いため、線量測定のみ実施中) ・2022年3月24日：180体の線量測定完了 線量が低いため洗浄は実施せず			

福島第一原子力発電所5・6号機 サブドレン設備の運用開始について

2022年3月31日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5/6号機 サブドレン集水設備設置工事進捗

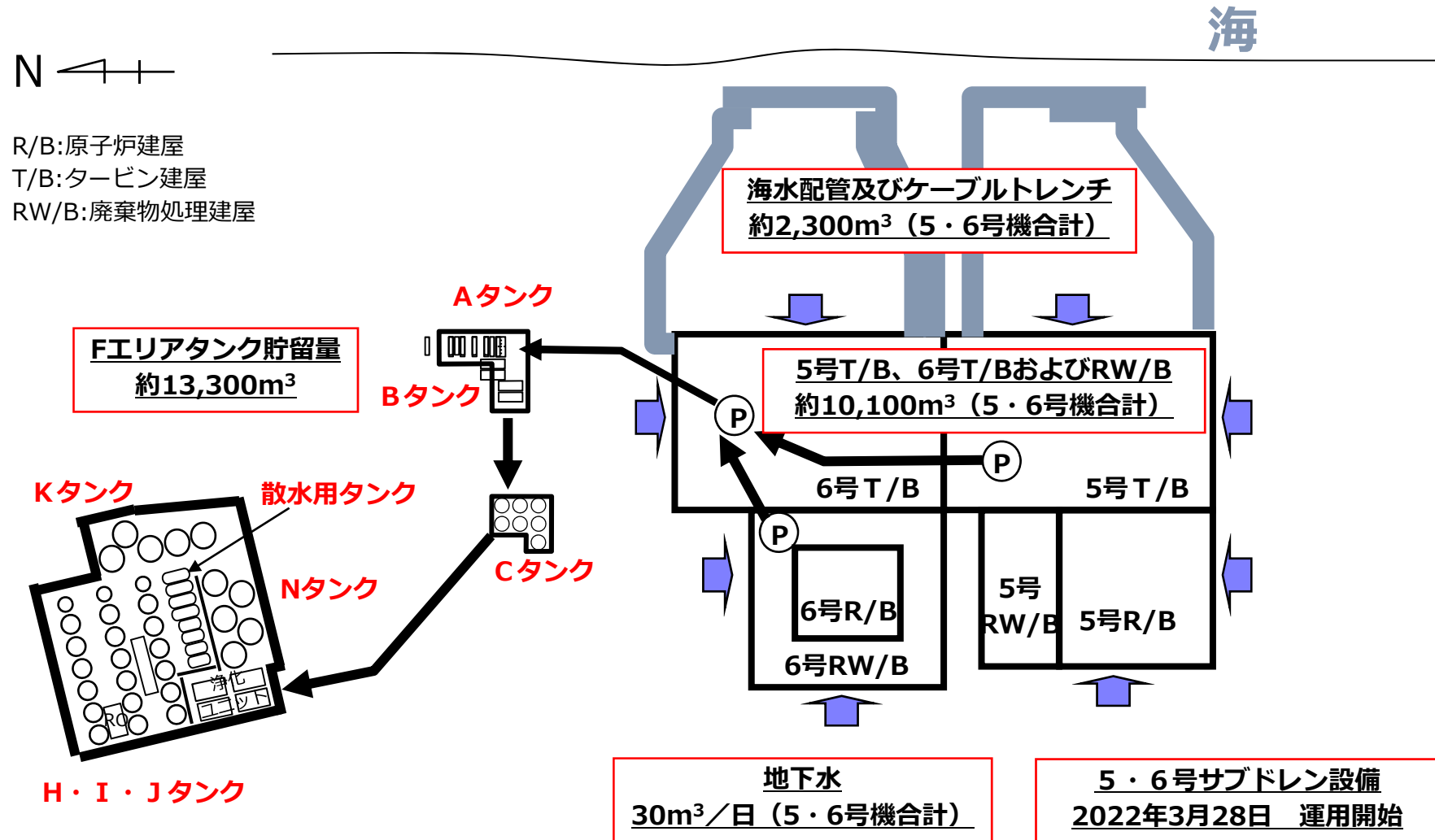
- 5/6号機サブドレン設備は、更なる5/6号機の建屋流入量抑制のため、2020年9月から復旧工事を開始（2020年2月、第75回廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議にて報告）していた。
- 5/6号機サブドレン設備でくみ上げた地下水は、既設サブドレン集水設備へ移送する計画であり、移送に係る設備設置工事は完了しており、2022年2月に総合試験を経て、2022年3月28日より運用（移送）を開始し、稼働は日中時間帯から始め、状況を確認しながら徐々に稼働時間を延長していく計画である。



— : 配管設置済 (約1,900m) ■ : 中継タンク設置済 (2基) ● : サブドレンピット ポンプ・水位計設置済 (13箇所)

2. 5・6号機 低レベル滞留水量※1の状況

5・6号機 低レベル滞留水量の合計約25,700m³ (2022.3.28現在)



※1：5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

3. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

- 2014年9月から2022年3月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり
- 今後サブドレン稼働による影響を確認していく予定。

5・6号機 低レベル滞留水量の推移

